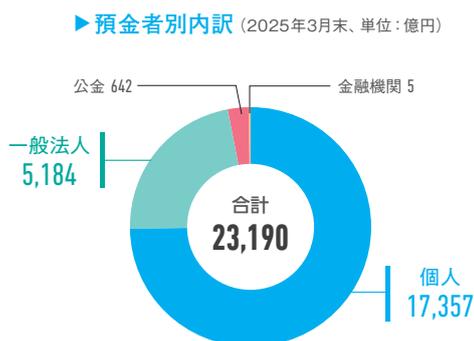
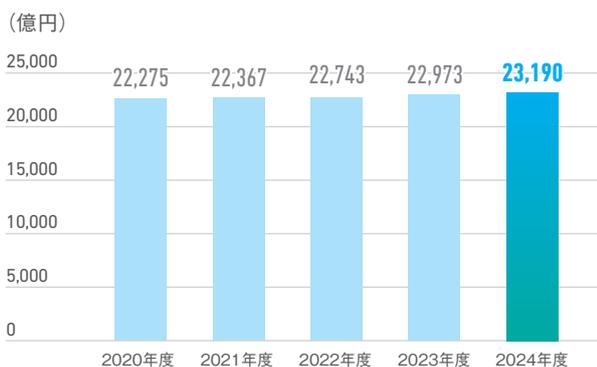


# 業績ハイライト

## 資産・負債の状況

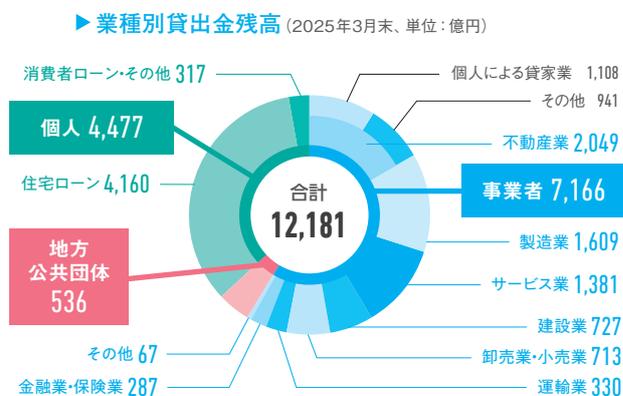
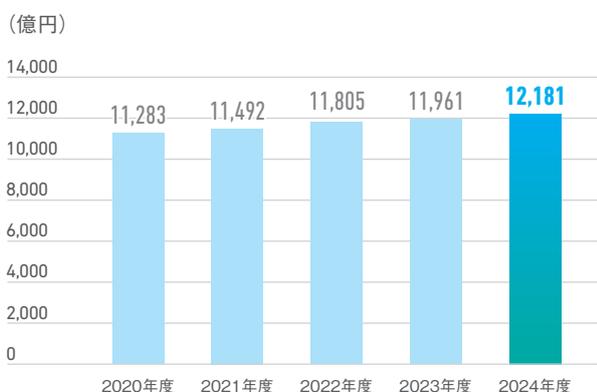
### 預金積金

預金積金残高は定期預金などを中心に増加し、前期比216億円増加の2兆3,190億円(増加率0.94%)となりました。個人・法人のお客さまから広く預金積金をお預かりしています。



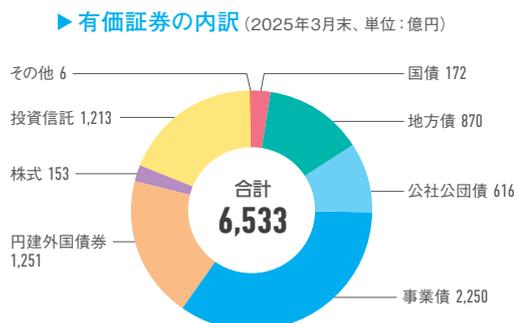
### 貸出金

貸出金残高は、個人向け、事業者向け貸出ともに増加し、前期比219億円増加の1兆2,181億円(増加率1.83%)となりました。地域のさまざまな業種の皆さまの資金需要に積極的に対応しています。



### 有価証券

有価証券残高は、前期比174億円減少の6,533億円となりました。国債、地方債、格付けの高い社債および円建外国債券などの債券を中心に、安全性重視の運用を行っています。



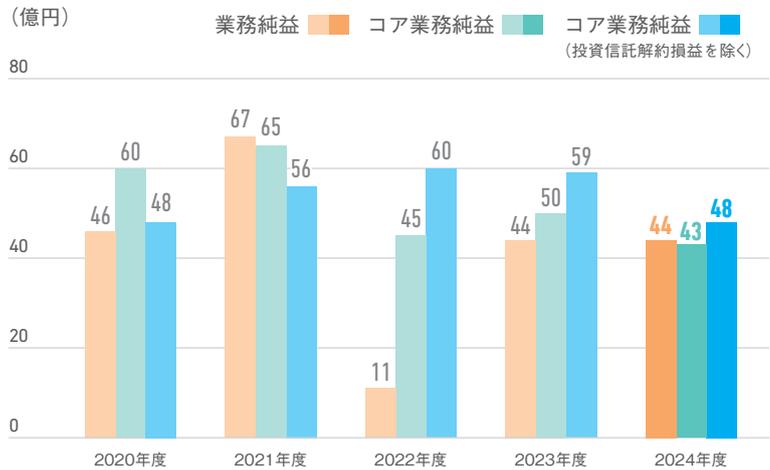
## 損益の状況

### 業務純益・コア業務純益

貸出金利息が増加した一方で、預金利息や人件費などの経費が増加したことにより、業務純益は前期比48百万円減少の44億円となりました。本業での収益力を表す指標であるコア業務純益（投資信託解約損益を除く）は、前期比10億円減少の48億円となりました。

#### 参考

- 業務純益：融資など基本的業務に係る利益です。
- コア業務純益：業務純益から、一時的な変動要因（一般貸倒引当金繰入額および国債等債券関係損益）を除いたものです。



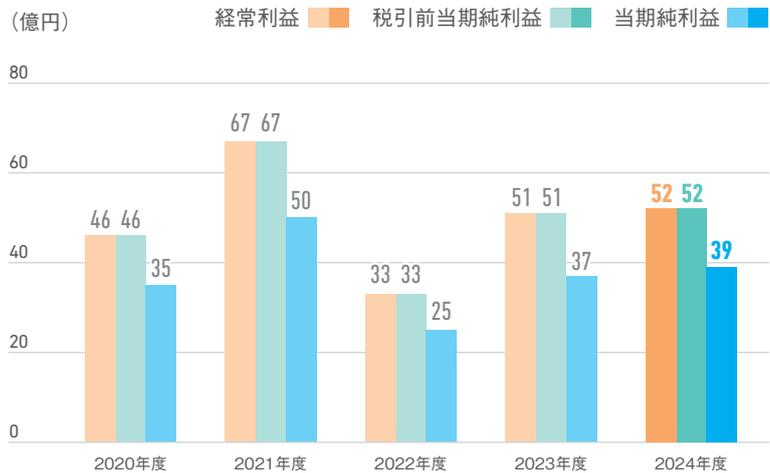
### 経常利益・当期純利益

業務純益は減少しましたが、不良債権関係費用の減少などにより、経常利益は前期比1億円増加の52億円、税引前当期純利益は前期比80百万円増加の52億円、当期純利益は前期比2億円増加の39億円となりました。

最終利益である当期純利益の大部分が利益剰余金として積み立てられ、当金庫の自己資本の充実につながっています。

#### 参考

- 経常利益：通常の営業活動からの利益です。経常的な収益力を見る上で重要な利益です。
- 当期純利益：経常利益に特別利益と特別損失を加減し、法人税などを控除した利益です。最終利益ともいいます。



# 業績ハイライト

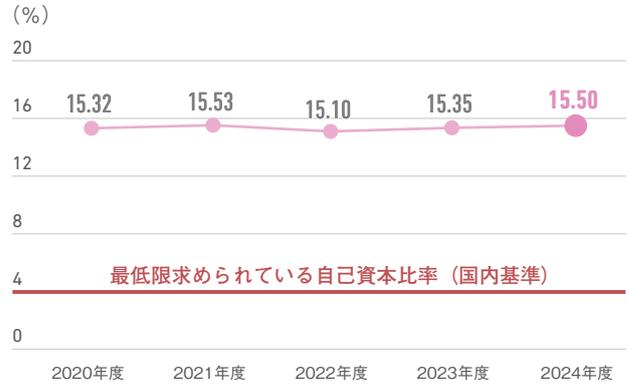
## 経営指標

### 自己資本比率

金融機関の安全性を表す代表的な指標である自己資本比率は、利益計上による自己資本の増加により、前期比0.15ポイント上昇の15.50%となりました。

毎期の利益剰余金の積上げや資産良化への取り組みにより、信用金庫に求められる国内基準4%を大幅に上回っています。

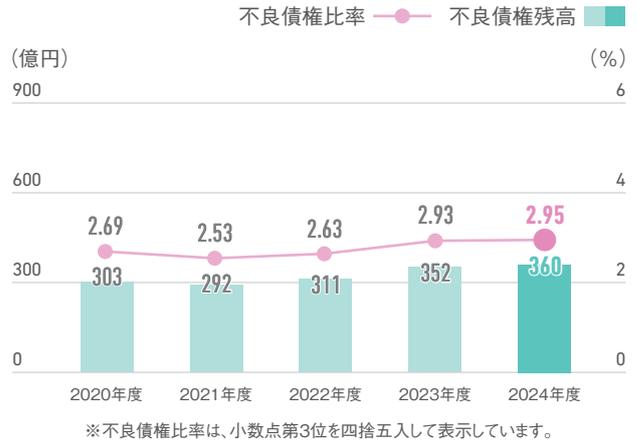
※自己資本比率＝自己資本額÷リスクアセット



### 不良債権

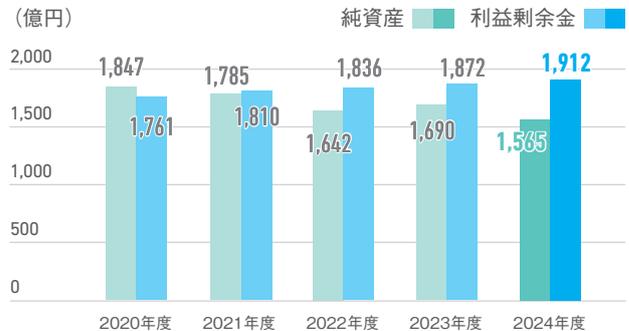
「事業再生・経営支援活動」を主体に、地域経済への影響を十分に考慮しつつ減少に努めましたが、金融再生法ベースの不良債権額は、前期比8億円増加の360億円、不良債権比率は前期比0.02ポイント上昇の2.95%となりました。

不良債権の87.1%が担保や保証、貸倒引当金でカバーされており、また、当金庫は潤沢な自己資本を備えており、不良債権が経営に与える影響は極めて小さいものとなっています。



### 純資産

過去からの利益の蓄積である利益剰余金は前期比39億円増加の1,912億円、純資産は前期比125億円減少の1,565億円となりました。



# 貸借対照表・損益計算書

## 第75期貸借対照表

(2025年3月31日現在)

科目	金額(百万円)
<b>(資産の部)</b>	
現金	17,060
預け金	558,865
買入金銭債権	11,772
金銭の信託	2,918
有価証券	653,379
国債	17,295
地方債	87,055
社債	286,639
株式	15,321
その他の証券	247,068
貸出金	1,218,100
割引手形	1,809
手形貸付	53,461
証書貸付	1,073,385
当座貸越	89,444
外国為替	256
外国他店預け	256
その他資産	16,477
未決済為替貸	903
信金中金出資金	11,236
前払費用	34
未収収益	2,436
金融派生商品	1
その他の資産	1,864
有形固定資産	22,438
建物	6,794
土地	13,860
建設仮勘定	512
その他の有形固定資産	1,270
無形固定資産	583
ソフトウェア	477
その他の無形固定資産	106
前払年金費用	254
繰延税金資産	14,796
債務保証見返	1,173
貸倒引当金	△1,690
(うち個別貸倒引当金)	△1,234
<b>資産の部合計</b>	<b>2,516,386</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 第75期損益計算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

科目	金額(百万円)
<b>経常収益</b>	
<b>資金運用収益</b>	<b>20,151</b>
貸出金利息	11,245
預け金利息	2,141
コールローン利息	133
有価証券利息配当金	6,365
その他の受入利息	266
<b>役員取引等収益</b>	<b>3,487</b>
受入為替手数料	861
その他の役員収益	2,625
<b>その他業務収益</b>	<b>527</b>
外国為替売買益	15
国債等債券売却益	179
その他の業務収益	331
<b>その他経常収益</b>	<b>1,720</b>
貸倒引当金戻入益	451
償却債権取立益	287
株式等売却益	977
その他の経常収益	4
<b>経常費用</b>	<b>20,586</b>
<b>資金調達費用</b>	<b>1,929</b>
預金利息	1,898
給付補填備金繰入額	13
借入金利息	17
その他の支払利息	0
<b>役員取引等費用</b>	<b>2,151</b>
支払為替手数料	114
その他の役員費用	2,037
<b>その他業務費用</b>	<b>63</b>
国債等債券売却損	60
金融派生商品費用	2
その他の業務費用	0
<b>経費</b>	<b>15,547</b>
人件費	10,064
物件費	4,930
税金	553
<b>その他経常費用</b>	<b>894</b>
貸出金償却	406
株式等売却損	262
金銭の信託運用損	80
その他の経常費用	144
<b>経常利益</b>	<b>5,299</b>
<b>特別利益</b>	<b>2</b>
固定資産処分益	2
<b>特別損失</b>	<b>62</b>
固定資産処分損	38
減損損失	20
その他の特別損失	3
<b>税引前当期純利益</b>	<b>5,239</b>
法人税、住民税及び事業税	1,056
法人税等調整額	194
<b>法人税等合計</b>	<b>1,250</b>
<b>当期純利益</b>	<b>3,988</b>
<b>繰越金(当期首残高)</b>	<b>501</b>
<b>当期末処分剰余金</b>	<b>4,490</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

へきしんのサステナビリティ

へきしんの経営状況

へきしんの概要

# 開かれた総代会を目指して

## 1 総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人一人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。

信用金庫の会員は、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では会員数が多いへん多く総会の開催が事実上不可能なため、会員の総意を適正に反映しつつ充実した審議を確保することを目的として、総会に代えて総代会を開催する制度を採用しています。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任などの重要事項を決議する最高意思決定機関です。総代会は、総会と同様に、会員一人一人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、総代構成のバランス等に配慮し、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

さらに、当金庫では、総代会に限定することなく、会員向けアンケートを実施するなど、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

## 2 総代の任期、定数及び選任方法

### (1) 総代の任期、定数

総代の任期は3年です。

2009年4月以降新たに就任した総代の定年は満75歳です。ただし、任期の途中で定年に達したときは、その任期の終了をもって退任となります。

総代の定数は90人以上120人以内で、会員数に応じて選任区域ごとに定められています。

### (2) 総代の選任方法

総代は、次の3つの手続きを経て選任されます。

- 1 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
- 2 総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
- 3 総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

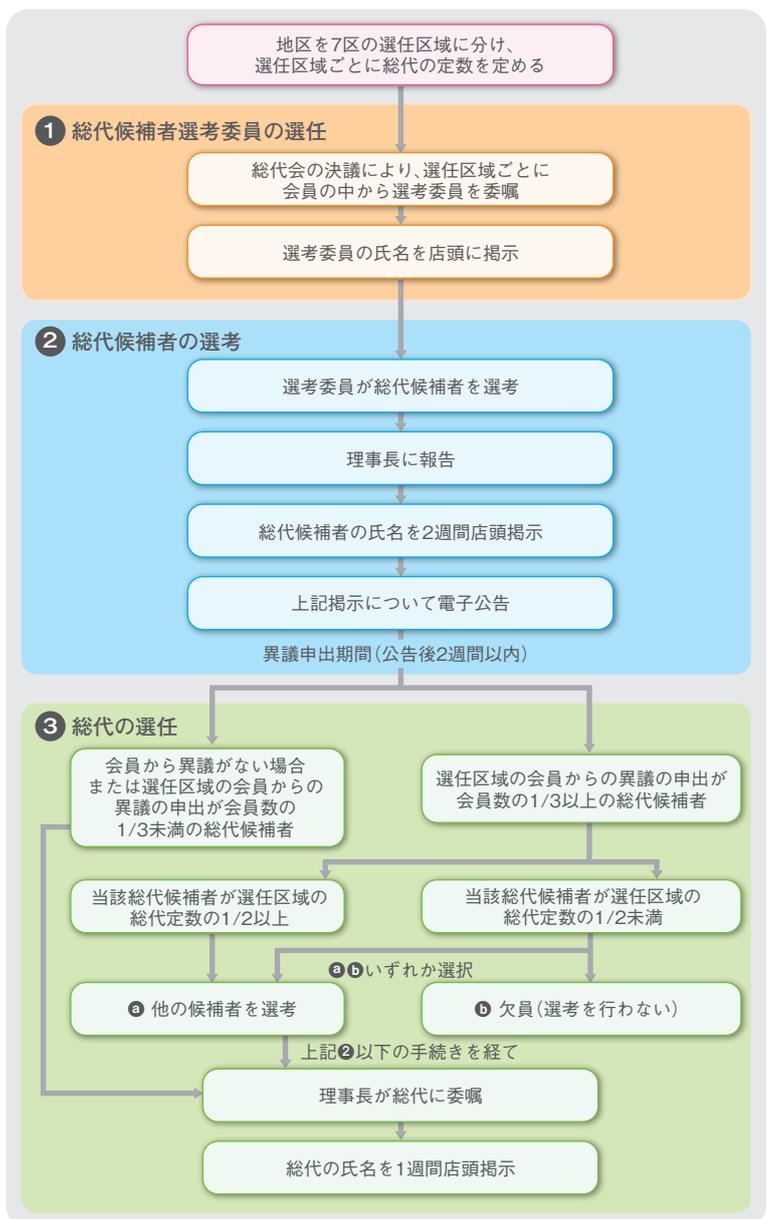
## 3 総代候補者選考基準

(1) 総代候補者は、当金庫の会員でなければならない。

(2) 総代候補者の選考基準は次のとおりとする。

- 総代としてふさわしい見識を有している者
- 良識をもって正しい判断ができる者
- 人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している者
- その他総代候補者選考委員が適格と認めた者

### ● 総代の選任方法（総代が選任されるまでの手続きについて）



## 4 第75期通常総代会の開催

2025年6月17日、総代118名（うち議決権行使書31名）にご出席いただき、本店3階大会議室において第75期通常総代会を開催しました。

総代会では、次の事項が付議され、それぞれ原案の通り承認可決されました。

### ●報告事項

第75期業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

### ●決議事項

- 第1号議案 第75期剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 定款一部変更の件
- 第3号議案 所在不明会員の除名の件
- 第4号議案 理事2名選任の件
- 第5号議案 監事1名選任の件
- 第6号議案 退任理事及び退任監事に対し退職慰労金贈呈の件



## 5 総代の氏名等

（五十音順、敬称略、氏名の後の数字は総代への就任回数）

選任区域	人数	氏名
第1区 安城市	18名	大嶽 恭仁子③ 大見 満宏④ 加賀 雅人① 片桐 弘⑦ 加藤 登志雄⑧ 金子 豊久③ 神谷 英吾② 神谷 喜久雄⑥ 沓名 俊裕⑤ 鈴木 康文① 富田 清治④ 中島 守彦⑤ 成瀬 介宣⑧ 原 敏城② 久田 庸平③ 兵藤 義房② 三浦 哲⑧ 水野 誠⑤
第2区 刈谷市・知立市	16名	池田 裕幸③ 磯村 洋子④ 犬塚 太門② 太田 宗一郎⑧ 岡田 真幸③ 倉田 英行⑧ 近藤 純子⑦ 鈴木 文三郎④ 鈴木 康則② 田中 純⑤ 角岡 昭典⑥ 永田 千春⑧ 中村 智① 羽賀 威一郎① 宮田 和典③ 山本 裕嗣⑦
第3区 碧南市・高浜市 西尾市	14名	池田 晋治④ 石川 春久⑪ 石橋 嘉彦⑥ 神谷 孝一⑧ 神谷 環光① 神谷 義昌⑥ 亀山 裕一⑦ 畔柳 博樹① 榊原 利夫⑧ 杉浦 豊紀⑤ 杉浦 弘③ 鈴木 雅基④ 鈴木 泰博① 名倉 隆司①
第4区 岡崎市・額田郡 蒲郡市・豊川市 豊橋市	21名	浅岡 直人③ 伊藤 公正⑪ 伊奈 良浩③ 宇野 功晃③ 太田 健介④ 小野 正富⑦ 片岡 啓二② 加藤 博巳④ 神谷 光典② 近藤 盛仁① 酒井 英二④ 杉浦 彰④ 鈴木 信高④ 中村 哲久⑥ 野田 篤文④ 牧 久② 松本 文久② 宮本 大介② 安田 朗子① 山崎 満⑩ 山本 雅樹⑦
第5区 豊田市・日進市 みよし市	13名	荒川 吉泰③ 江原 功一⑧ 岡田 哲士③ 小幡 銀伸⑬ 河上 貴夫③ 木下 富夫③ 甲村 武保⑭ 小島 裕二① 澤田 智行③ 鈴木 論治① 高木 健④ 野田 清衛⑪ 野場 基⑧
第6区 名古屋市・豊明市 愛知郡・瀬戸市 尾張旭市・春日井市 長久手市・稲沢市 清須市・北名古屋市 あま市・西春日井郡 海部郡大治町	21名	天野 一人⑦ 伊丹 勝司④ 大河 哲男① 久納 英治⑥ 熊谷 勝一郎① 桑島 雄一郎① 近藤 匠① 酒井 重康⑨ 坂本 精志⑦ 嶋田 雅之① 杉浦 壽治① 田口 和宏① 坪内 孝暁③ 富田 英之③ 永川 裕士③ 中島 吉之① 中村 出④ 野々村 昌彦③ 丸山 創平② 毛受 進② 柳 均③
第7区 大府市・東海市 半田市・知多市 常滑市・知多郡	15名	相木 徹③ 今津 昭⑧ 岩部 雅人④ 神谷 紘正④ 近藤 晃尚⑤ 榊原 正章② 下谷 敏博④ 首藤 亮太② 冨田 毅① 永田 英二⑤ 深谷 啓治⑦ 深谷 光俊⑧ 水野 貴之③ 森實 建介③ 山田 祐治②

（2025年6月17日現在）

### ●総代の属性別構成比

職業別	法人役員 100%（顧問、相談役等を含む）
年代別	80代以上 8.5%、70代 21.2%、60代 29.7%、50代 30.5%、40代以下 10.2%
業種別	製造業 57.6%、建設業 14.4%、卸・小売業 16.1%、各種サービス業 5.9%、不動産業 2.5%、運輸業 2.5%、その他 0.8%

（2025年6月17日現在）